

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ぽのりこ			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日 ～ 2025年 1 月 17 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日 ～ 2025年 1月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全ての職員が得意分野を活かし、様々な支援の引き出しを持って提供できるところ。	ぽのりこを利用するお子さまの特性を活かし、のびのびと活動できるようにしています。	職員の更なる質の向上。各々が持つ支援の引き出しを共有できるよう、ミーティングの機会をできるだけ確保しどんどん支援に繋げていきたいと思います。
2	お子さまが一人ひとり興味のある活動に取り組めるよう、自主性を重んじているところ。	好きな遊びを楽しみながら、少しずつ周りに興味を持ち、協力したり一緒に遊ぶ楽しさを体感し、コミュニケーション能力を育てていけるよう支援しています。	お子さまが好きな遊び、興味の幅を広げれるよう、その時々に応じて働きかけることも必要だと考えます。
3	ご家族に対する丁寧な対応。	お送りする際、できるだけその日のお子さまの様子をお伝えするようにしています。連絡帳は療育時間内に記入することになり詳しく書けないときもありますが、療育に支障がない範囲でできる限り記入しています。	今後もお子さまの状況をスムーズに情報提供できるよう、日頃から信頼関係の構築に努めてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常勤スタッフが日々の支援の提供以外のところの知識を得る機会が少ないところ。	今回のアンケートで、実際にできていることを「できていない」「無回答（わからない）」と答えている職員が半分ほどいました。事業所運営や関係機関との連携など、全員には伝えられていない事柄も多いことがわかりました。ミーティングの時間、回数が少ないことも大きな要因と考えます。	ミーティングの回数をできるだけ多く確保し、共通認識を図れるように努めます。またミーティングだけでなく、日々の会話や申し送りの中で、管理者・児発管が伝え、全職員が少しずつ理解を深めていければと思います。
2	事業所が狭いところ。	限られた空間を少しでも安全に、有効利用できるよう努めています。	利用児童だけでなく、職員も快適に過ごせる空間作りをレイアウト変更も含め、考えていきます。
3	事業所外とのつながりの希薄さ。	まずは「利用児童への日々の支援の充実」を第一に考え取り組んできました。その結果、支援会議以外で事業所外との積極的な関わりはあまりありませんでした。	今後は今までよりさらに関係機関各所とのつながりを大切にし、利用児童の支援をより充実したものにしたいと思います。